

2015年6月6日

調査レポート

実践女子大学 人間社会学部
実践「ペルソナ」研究会

実践『ペルソナ』通信 (No.2)

「女子大生のスマートフォンの利用実態」に関する調査結果 ～スマホ所有率 100%、家または電車などの交通機関での利用9割～

実践女子大学人間社会学部・実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学生を対象に、「スマートフォンの利用実態」についてアンケート調査を実施しました。有効回答者数は53サンプルでした。

※実践「ペルソナ」研究会は、実践女子大学人間社会学部における「統計科学（担当：竹内光悦）」、「経営学（担当：篠崎香織）」、「マーケティング（担当：斎藤明）」の3つの分野のゼミ生を中心に組織され、自分たちの消費活動、ライフスタイルをはじめ「実践女子大生が自分たち自身」を科学する研究会です。

総括

今回の調査を通して、ほとんどの女子大生がスマホを所持しており、うち8割はiPhoneユーザーであることが分かった。また、スマホの利用時間は3～6時間利用する人が最も多く、利用目的の多くは利用頻度の高い順にLINE、Twitter、InstagramなどのSNSと情報検索・閲覧であった。iPhoneを所有している人とiPhone以外を所有している人別の利用時間は、iPhone以外を所有している人の方が長い時間利用する傾向にあることがわかった。また、自分はスマホに依存していると思うと答えた人とどちらかといえば依存していると答えた人を合わせると94%となり、依存している女子大生がほとんどだということがわかった。

出身地と利用時間、依存傾向の関係では、一都三県出身のほうがスマホの利用時間が長く、依存傾向があった。また、居住形態（実家暮らしとそれ以外）とSNSの関係では、実家暮らし以外の方は、多くの方がコミュニケーションや連絡をとるためにSNSを利用していたのに対し、実家暮らしの方は、約20%が情報収集、暇つぶしとしてSNSを利用していることがわかった。

調査結果のポイント

(1) スマホの所有率は100%、所有している機種は8割がiPhone

スマホの所有率を尋ねたところ、全員が所有していることがわかった。また所有している機種を尋ねたところ、8割の人がiPhoneと回答があった。機種の選定理由を尋ねたところ、iPhone所有者は機能を理由にあげる人もいたが、身近な人が使っていることやとにかくiPhoneが良いと考える人がおり、iPhone以外の所有者は機能を重視して選んでいた。

(2) 1日の平均利用時間は3～6時間未満が43%、利用場所は家と移動中で9割

平日1日の平均スマホの利用時間について尋ねたところ、3～6時間未満が43%と最も高く、次いで1～3時間未満25%であり、半数が6時間未満だった。逆に12時間以上が6%と最も低かった。

(3) スマホの利用目的、SNSが6割、情報検索・閲覧が3割

スマホを使う1番の目的を聞いたところ、SNSが60%と最も高い割合となった。次いで高い割合となったのが情報検索・閲覧の32%で、SNSと情報検索・閲覧で、スマホの利用目的の9割を占める結果となった。また、SNSのアプリではLINE、Twitter、Instagramの利用頻度が高いことがわかった。

(4) 回答者の9割がスマホの依存傾向を意識

自分はスマホに依存していると思うかを聞いたところ、依存していると答えたのが32%、どちらかといえば依存していると答えたのが62%で、この2つを合わせると94%となり、依存している女子大生がほとんどだということがわかった。

(5) ソーシャルメディアの利用は96%、うち98%の利用端末がスマホ

ソーシャルメディアを利用しているか尋ねたところ、96%の人が利用していると回答した。また、ソーシャルメディアを利用する際の端末は、スマホで利用する人が98%、PCで利用する人が2%であり、ほとんどの人がスマホでソーシャルメディアを利用していることがわかった。

(6) 一都三県出身、スマホ利用時間長く、依存傾向

利用時間と出身地（一都三県とそれ以外）、依存傾向と出身地（一都三県とそれ以外）の関係を検証したところ、一都三県出身者のほうが、長い時間（6時間以上）スマホを利用している人がいて、約40%であった。また、一都三県出身者のほうに依存傾向があり、90%以上の人が依存している、やや依存していると回答した。

(7) SNS、地方出身者の9割がコミュニケーションや連絡手段として利用

居住形態（実家暮らしとそれ以外）とSNSを利用する理由の関係を検証したところ、実家暮らし以外の方は、ほとんどがコミュニケーションや連絡手段としてSNSを利用していたのに対し、実家暮らしの方は、約20%が情報収集や暇つぶしとしてSNSを利用していた。

(8) 実家暮らしとそれ以外では利用場所に違いがある

実家暮らし以外の方は家で利用する割合が高かったのに対して、実家暮らしの方は家以外の場所で利用する割合が高かった。

調査結果について

<調査概要>

調査対象	実践女子大学渋谷キャンパス在大学生
調査方法	調査票調査
調査期間	2015年5月15日～2015年5月29日
有効回答数	53人
回答者の属性	【学年】2年生：9%、3年生：91%

<本調査担当チーム>
実践「ペルソナ」研究会
3年 大城ゆい
3年 加藤沙織
3年 齊藤優衣
3年 松崎夏奈
3年 峯田伽耶

調査結果データ

(1) スマホの所有率は 100%、所有している機種は 8 割が iPhone

スマホの所有を聞いたところ、全員が持っているという回答が得られ、あわせて機種を尋ねたところ、iPhone が 81% ともっとも多く、2 番目の Xperia (11%) と大きく差があった (図 1)。

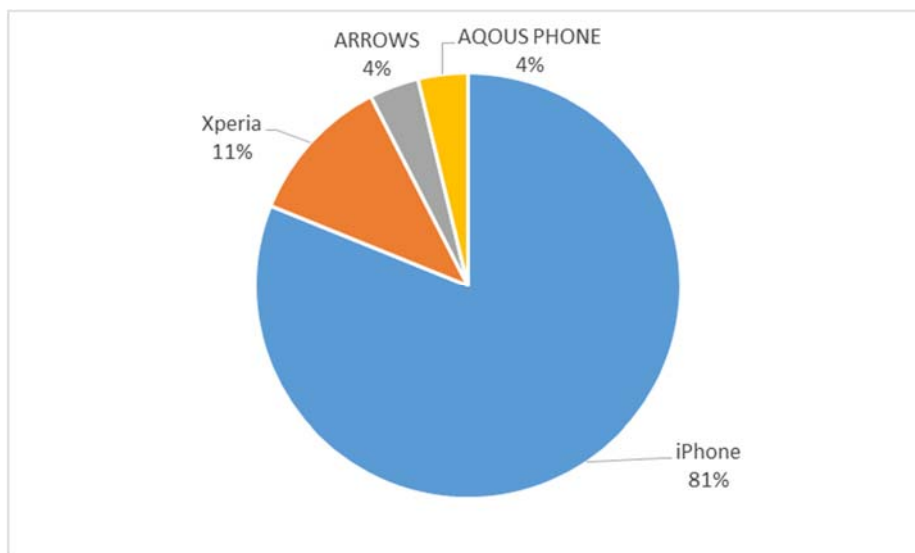


図 1. 所有しているスマホの機種 (N=53)

また機種選択の理由を尋ねたところ、iPhone を所有している人は「使いやすいから」「機能がいいから」といった機種自体の利点をあげる人がいたが、それ以外にも「みんなが使っているから」「家族全員で同じにして割引を受けているから」と身近な人の影響を答えた人もいた。また「iPhone が欲しかったから」などと iPhone だからという直接的な理由をあげる人もいた。iPhone 以外を所有している人の理由には、「防水だから」「画質がいいから」「フルセグ対応だったから」「カメラの画質が良かった」などと機能を重視して選択していた。

(2) 1 日の平均利用時間は 3~6 時間未満が 43%、利用場所は家と移動中で 9 割

平日 1 日の平均スマホの利用時間について尋ねたところ、3~6 時間未満が 43%と最も高い割合となった。次いで 1~3 時間未満 25%、6~9 時間未満 15%、9~12 時間未

満 11%であり、12 時間以上が 6%と最も低い割合となった（図 2）。

また iPhone 所有している人と iPhone 以外を所有している人別に利用時間を尋ねたところ、母数の人数が異なるため、一概には言えないが、iPhone 以外を所有している人の方が長い時間（6 時間以上）、スマホを利用していた人がいて約 40% だった（図 3）。

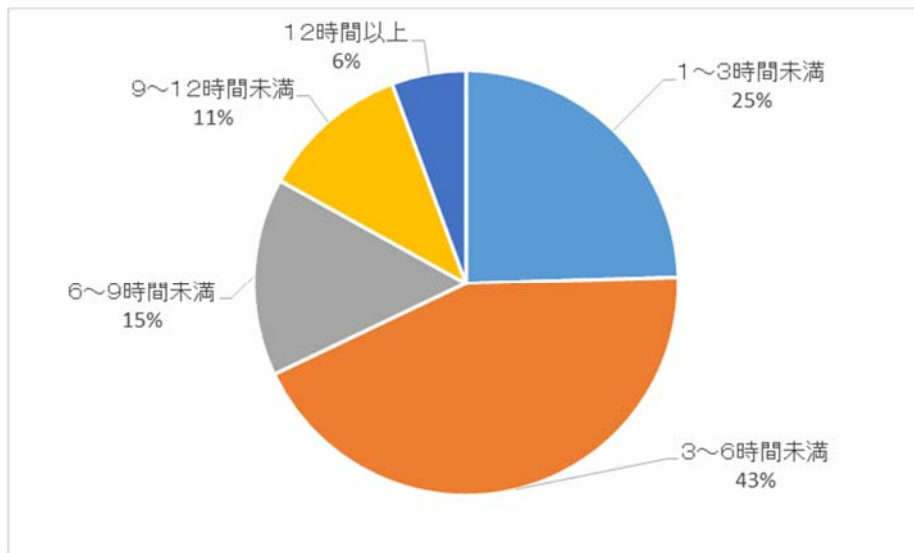


図 2. スマホの平日一日平均の利用時間（N=53）

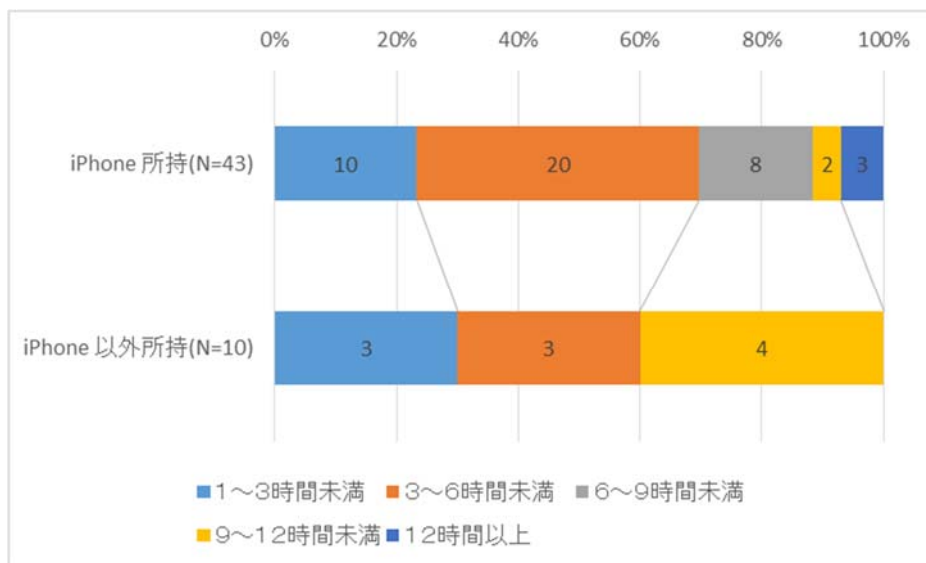


図 3. iPhone 所有と iPhone 以外所有の利用時間（N=53）

(3) スマホの利用目的、SNS が 6 割、情報検索・閲覧が 3 割

スマホを使う 1 番の目的を聞いたところ、SNS が 60%と最も高い割合となった。次いで高い割合となったのが情報検索・閲覧の 32%で、SNS と情報検索・閲覧で、スマホの利用目的の 9 割を占める結果となった（図 4）。

スマホで使用頻度の高いアプリを、使用頻度の高い順に 3 位まで回答してもらった結果（1 人未回答）、LINE が回答した 52 人全員が 3 位以内に選ぶ結果となった。次いで多かったのが Twitter で 37 人、Instagram、音楽で 12 人が上位 3 つにあげた。

また 1 位と回答されたアプリで最も多かったのは LINE で、40 人が 1 位にあげていた。LINE を 3 位以内にあげた 52 人中の約 77% が 1 位にしており、LINE が非常に使用されているアプリだということがわかった。次いで多かったのが Twitter の 7 人であった。2 位に 1 番あげられたアプリは Twitter で 25 人だった。次いで多かったのが LINE の 9 人であった。3 位に 1 番あげられたアプリは Instagram で 11 人だった。

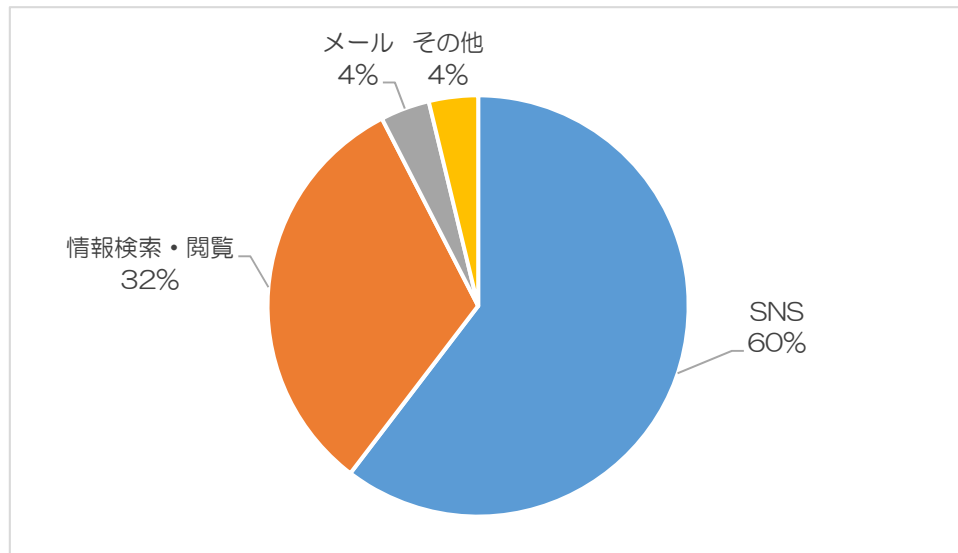


図4. スマホを使う一番の目的 (N=53)

(4) 回答者の 9 割がスマホの依存傾向を意識

自分はスマホに依存していると思うかを聞いたところ、依存していると答えたのが 32%、どちらかといえば依存していると答えたのが 62%で、この 2 つを合わせると 94%となり、依存している女子大生がほとんどだということがわかった (図 5)。

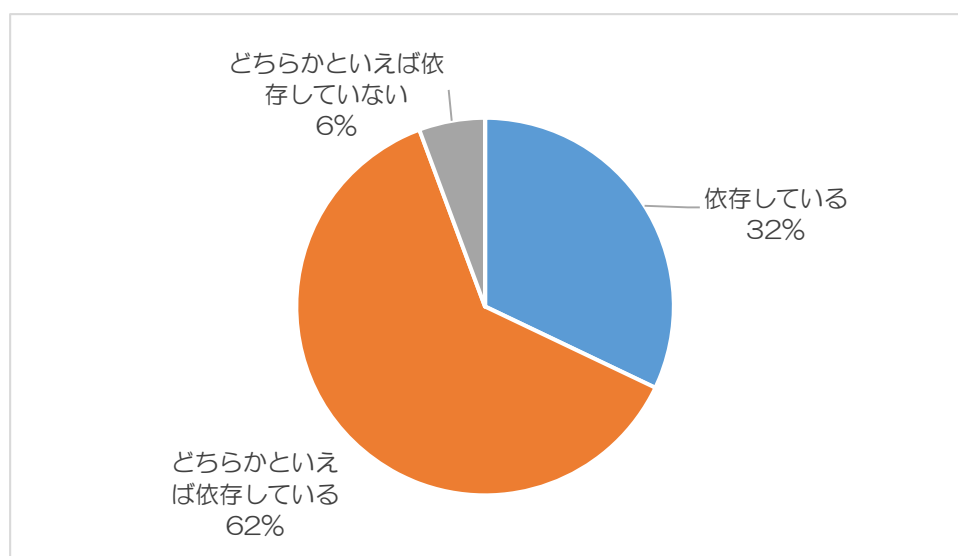


図5. スマホへの依存度 (N=53)

(5) ソーシャルメディアの利用は96%、うち98%の利用端末がスマホ

ソーシャルメディアを利用しているか尋ねたところ、96%の人が利用していると回答した(図6)。また、ソーシャルメディアを利用する際の端末は、スマホで利用する人が98%、PCで利用する人が2%であり、ほとんどの人がスマホでソーシャルメディアを利用していることが分かった。

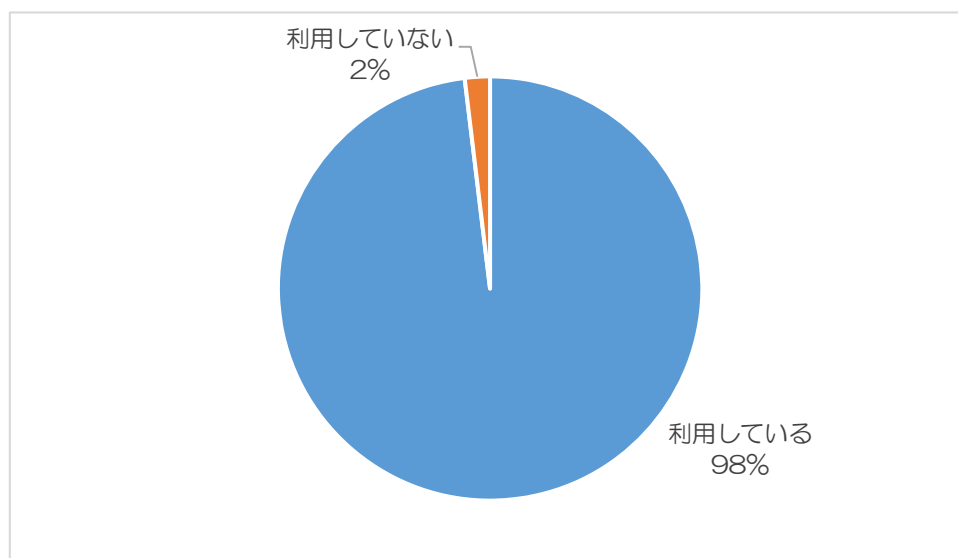


図6. ソーシャルメディアの利用 (N=53)

最も利用されているソーシャルメディアはLINEが79%、利用目的はコミュニケーションや連絡をとるための8割だった。利用するソーシャルメディアについて尋ねたところ、LINEが79%と最も高い割合となった。次いで、Twitterが21%だった。

ソーシャルメディアの利用目的について尋ねたところ、「友人や知り合いとコミュニケーションをとるため」が69%と最も割合が高く、次いで、「連絡手段として利用するため」が15%、「ひまつぶしのため」が10%、「情報収集のため」が6%と最も低い割合となった。

最後に出身別と利用状況の関係、居住形態と利用状況の関係について、検証してみた。

(6) 一都三県出身、スマホ利用時間長く、依存傾向

「地方出身の方が、遠方連絡があるため、利用時間が長い」と予想して、利用時間と出身地(一都三県とそれ以外)の関係を検証したところ、一都三県出身者のほうが、長い時間(6時間以上)スマホを利用している人が多く、約40%だった(図7)。

また、依存傾向と出身地(一都三県とそれ以外)の関係については、一都三県出身者のほうが、依存傾向があり、90%以上の方が「依存している」、「やや依存している」と回答した(図8)。

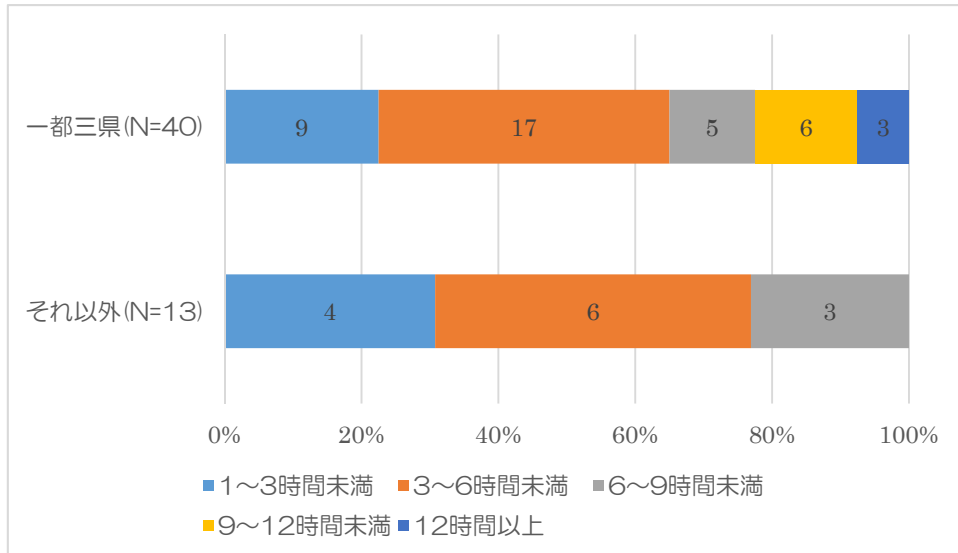


図 7. 利用時間と出身地 (N=53)

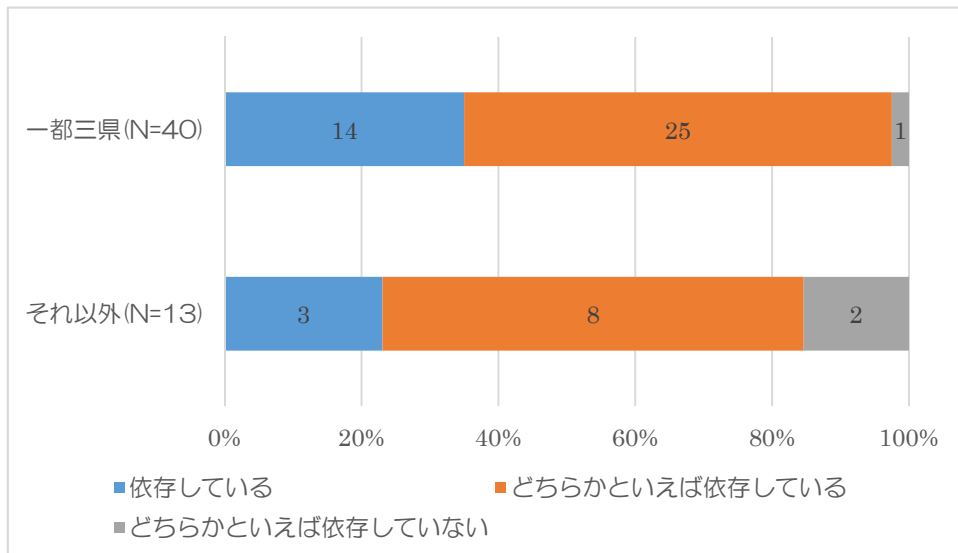


図 8. 依存傾向と出身地 (N=53)

(7) SNS、地方出身者の9割がコミュニケーションや連絡手段として利用

「居住形態と利用状況には何らかの傾向がみられる」と予想して、居住形態（実家暮らしとそれ以外）とSNSを利用する理由の関係を検証したところ、実家暮らし以外の人は、ほとんどがコミュニケーションや連絡をとるためにSNSを利用していたのに対し、実家暮らしの人は、約20%が情報収集、暇つぶしとしてSNSを利用していた（図9）。

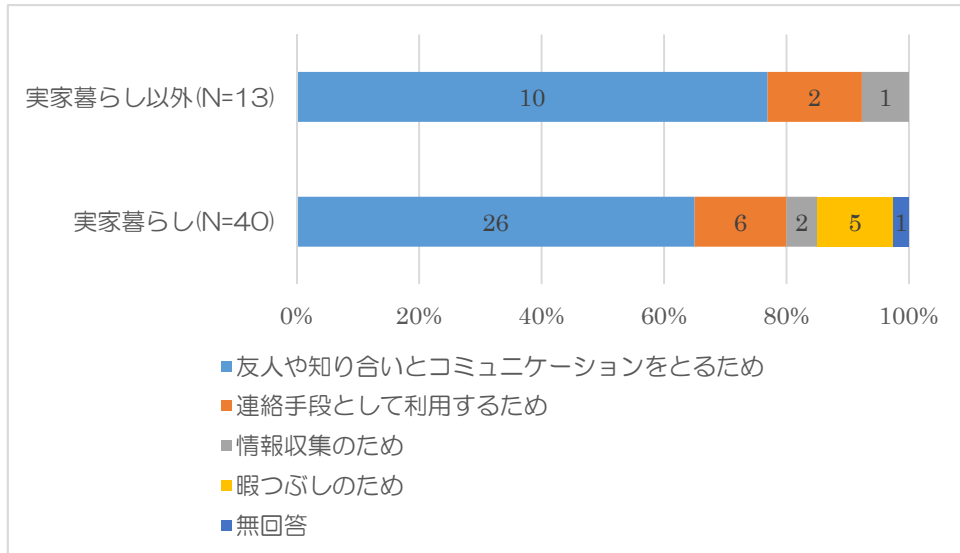


図 9. 居住形態と SNS を利用する理由 (N=53)

(8) 実家暮らしとそれ以外では利用場所に違いがある

「実家暮らしと実家暮らし以外では主な利用場所が異なる」と予想して、居住形態と利用場所の関係を検証したところ、実家暮らし以外の人約 70% の人が家でスマホを利用するのに対し、実家暮らしでは家で利用する人よりも電車や交通機関で利用している人が約 50% だった (図 10)。

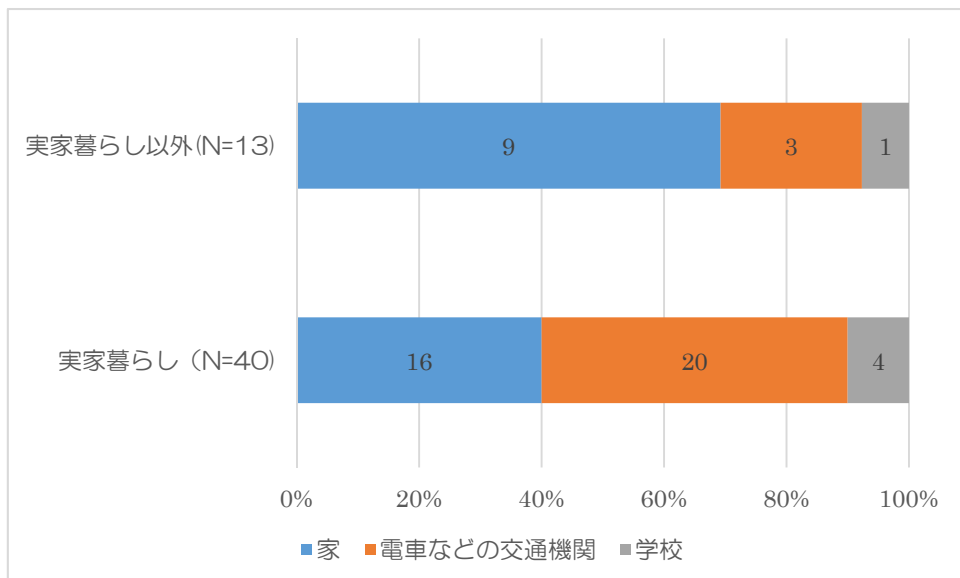


図 10. 居住形態と利用場所 (N=53)